

JIS

軟質発泡材料－物理特性－ 第5部：引張強さ，伸び及び引裂強さの求め方

JIS K 6400-5 : 2024

(JRMA/JSA)

令和6年3月21日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	株式会社 AIST Solutions
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車両工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.3.20 改正：令和 6.3.21

官 報 掲 載 日：令和 6.3.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験の一般条件	2
4.1 試験片の採取方法	2
4.2 試験片の状態調節	2
4.3 試験場所の標準状態	2
5 引張強さ及び伸び	2
5.1 原理	2
5.2 試験装置	3
5.3 試験片	3
5.4 測定方法	5
5.5 測定結果のまとめ方	5
5.6 試験報告書	6
6 引裂強さ	6
6.1 原理	6
6.2 試験の種類	6
6.3 試験装置	7
6.4 試験片	7
6.5 測定方法	10
6.6 測定結果のまとめ方	11
6.7 試験報告書	11
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	14

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ゴム工業会（JRMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 6400-5:2012** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS K 6400 規格群は、次に示す部で構成する。

JIS K 6400-1 第 1 部：通則

JIS K 6400-2 第 2 部：硬さ及び圧縮応力-ひずみ特性の求め方

JIS K 6400-3 第 3 部：反発弾性の求め方

JIS K 6400-4 第 4 部：圧縮残留ひずみ及び繰返し圧縮残留ひずみ

JIS K 6400-5 第 5 部：引張強さ、伸び及び引裂強さの求め方

JIS K 6400-6 第 6 部：燃焼性

JIS K 6400-7 第 7 部：通気量の求め方

JIS K 6400-8 第 8 部：熱老化性の求め方

JIS K 6400-9 第 9 部：抗菌効果の求め方

軟質発泡材料—物理特性—

第5部：引張強さ、伸び及び引裂強さの求め方

Flexible cellular polymeric materials—Physical properties—Part 5: Determination of tensile strength, elongation at break and tear strength

序文

この規格は、2008年に第4版として発行された **ISO 1798** 及び 2018年に第3版として発行された **ISO 8067** を基に、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、軟質発泡材料を一定の速度で破断するまで引っ張って求める引張強さ及び伸びの求め方並びに一定の速度で引っ張って求める引裂強さの求め方について規定する。

警告 この規格の利用者は、通常の試験室での作業に精通している者とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

注記 1 ポリエチレンを原料とする軟質及び半硬質発泡プラスチックの規格としては、**JIS K 6767**（発泡プラスチック—ポリエチレン—試験方法）がある。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 1798:2008, Flexible cellular polymeric materials—Determination of tensile strength and elongation at break

ISO 8067:2018, Flexible cellular polymeric materials—Determination of tear strength (全体評価:MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7721 引張試験機・圧縮試験機—力計測系の校正方法及び検証方法

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 7500-1**, Metallic materials—Calibration and verification of static uniaxial testing machines—Part 1: Tension/compression testing machines—Calibration and verification of the force-measuring system